

平成 26 年 12 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社タイセイ
代表者名 代表取締役社長 佐藤 成一
(コード:3359 東証マザーズ 福証 Q-Board)
問合せ先 取締役総務部長 後藤 眞二郎
(TEL. 0972-85-0117)

周陽商事株式会社の株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、周陽商事株式会社（以下「周陽商事」といいます。）の株式を取得し、連結子会社化することについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社グループは、主にインターネット通販サイト「cotta（コッタ）」による製菓・製パン用食材および包装資材等の卸売事業（通信販売）をコア事業としながら、製菓・製パン用食材の加工事業ならびに製菓をターゲットにしたインターネットメディア事業へと事業領域を拡大し、更なる成長・事業拡大を図ってまいりました。

このたび、株式を取得する周陽商事は、主に山口県内における製菓・製パン業界を中心とした B to B 向けに、自社保有の配送車にてお客様に商品を直接お届けする地域密着型の製菓・製パン用食材卸売事業を展開しております。

当社グループは、同社の株式を取得し、連結子会社化することによって、通信販売では構築しえない Face to Face でのきめ細かな営業を行うことが可能となり、当社グループの事業戦略の一つである製菓・製パン業界の業界深掘りが期待できます。さらに、山口県内における配送センターとしての役割を担うことが可能となるため、配送の迅速化および物流コストの削減に繋がります。

また、同社においては、当社グループが通信販売で構築した物流体制およびシステム等のノウハウの活用ならびに当社グループとの共同仕入などにより、在庫の圧縮および受発注業務の効率化ならびに仕入コストの削減および取扱商品の拡充等を図ることが可能となり、業績の向上が期待できます。

以上により、事業領域を同じとする周陽商事が当社グループに加わることによって双方にシナジー効果が生み出され、ひいては当社グループの企業価値向上に資することを同社の株式取得の目的とするものであります。

2. 異動する子会社（周陽商事株式会社）の概要

(1) 名 称	周陽商事株式会社		
(2) 所 在 地	山口県下松市藤光町二丁目13番25号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 沖田 新一郎		
(4) 事 業 内 容	製菓・製パン用食材卸売業		
(5) 資 本 金	10百万円		
(6) 設 立 年 月 日	昭和43年11月11日		
(7) 大株主および持株比率	沖田新一郎 41.5% 沖田安秀 22.5% 沖田ひとみ 20.1% その他 15.7%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績および財政状態			
決算期	平成24年5月期	平成25年5月期	平成26年5月期
純 資 産	101百万円	97 百万円	98 百万円
総 資 産	262百万円	267 百万円	251 百万円
1 株 当 たり 純 資 産	145,458.24円	139,002.89 円	140,252.79 円
売 上 高	760 百万円	741 百万円	685 百万円
営 業 利 益	△3 百万円	△2 百万円	0 百万円
経 常 利 益	5 百万円	△2 百万円	0 百万円
当 期 純 利 益	3 百万円	△4 百万円	1 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	4,860.51 円	△5,956.78 円	1,551.33 円
1 株 当 たり 配 当 金	500 円	500 円	300 円

3. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有0%)
(2) 取 得 株 式 数	700株 (議決権の数：700個)
(3) 異動後の所有株式数	700株 (議決権の数：700個) (議決権所有割合：100.0%)
(4) 取 得 価 額	取得価額につきましては、相手先との合意により非公表とさせていただきます。なお、取得価額は第三者機関の評価に基づき、双方協議の上、当社取締役会において公正かつ妥当であると判断し、その合理性についても担保されていると認識しております。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	平成26年12月25日
(2) 契約締結日	平成26年12月25日
(3) 株式譲渡実行日	平成27年1月5日(予定)

5. 今後の見通し

平成27年9月期の連結業績予想につきましては、他の要因も含めて現在精査中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

(参考) 当期連結業績予想(平成26年11月14日公表分)および前期連結実績

(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成27年9月期)	4,120	106	130	72
前期連結実績 (平成26年9月期)	4,026	70	111	59

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合がありますので、この数値に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

以上